

## 令和2年度地域振興基金を活用した区民活動助成事業一覧

1. 申請件数 6件

2. 選定件数 5件 ※スタートアップ助成2事業、チャレンジ助成3事業

	事業名	申請団体	助成額 (総事業費)
1	【スタートアップ助成 2年目】 みんなでつくる親子ひろば「そとぼ ～よ!」@文庫の森	(特非)そとぼ一よ (代表理事:本道 良子)	177,000円 (528,484円)
[事業概要<①目的 ②事業内容 ③成果>] ① 自然と関わる外遊びを通して、子どもの自己肯定感を育み、「子どもの遊び、学び、育ち」の意味や大切さを広く伝えていく。 ② 文庫の森で月2回金曜日に乳幼児親子対象の屋外型親子広場を開催する。 ③ 外遊びを乳幼児期から体験する活動を通じて、人が自分らしく豊かに成長できるまちづくり、社会形成に寄与する。			
2	【チャレンジ助成 2年目】 美容ボランティア人材養成事業	(特非)プラチナ美容塾 (理事長:伊藤 文子)	116,000円 (181,342円)
[事業概要<①目的 ②事業内容 ③成果>] ① 美容ボランティア講座、その後のボランティア体験を経て、地域ボランティア活動の活発化に寄与する。 ② 高齢者を中心に、美容講座やボランティア講座を開催し、技術を習得した後、実際に高齢者施設で美容ボランティア体験をする。 ③ 講座受講者に対し、自分が必要とされていることへの気づきを促し、生きがいを感じてもらう機会となる。また、地域へのボランティア活動へとつなげることで、地域共生社会へ寄与できる。			
3	【チャレンジ助成 2年目】 楽しいiPadライフを始めよう!～重 度心身障害の方も一緒に～	(特非)ICT救助隊 (理事長:今井 啓二)	310,000円 (565,680円)
[事業概要<①目的 ②事業内容 ③成果>] ① 障害を持つ人の生活の質の向上のために、ICTを活用した、難病患者や重度障害者のコミュニケーション支援を行う。 ② コミュニケーション支援ができる家族や支援者に対して、iPadやICT機器の機能や使い方を学ぶ講習会を実施する。 ③ 障害者のコミュニケーション支援の必要性を周知できる機会を持つことで、今後さらに相談へとつなげていける。また参加者同士のつながりが持て、支援者の輪が広がる。			
4	【スタートアップ助成 3年目】 第五回『健康講話』	品の輪 ～品川区リハビリテ ーションネットワーク～ (代表:伊藤 重忠)	60,000円 (81,580円)
[事業概要<①目的 ②事業内容 ③成果>] ① 医療、保健、福祉、リハビリテーションについての講話を通して、健康長寿の知識を伝達していく。 ② 一般区民向けに、リハビリテーション専門職として提供できる「自立していく為に必要な健康についての知識・実践方法」を講演する。 ③ 参加者は健康長寿についての知識を有することができる。さらに、参加者には講話の内容を地域に伝達してもらう工夫をし、地域での講話活動につなげる。			

5	【チャレンジ助成 3年目】 みんな DE 楽しく落語コミュニケーション	(特非)品川こども劇場 (理事長：巻島 淳子)	242,000 円 (414,144 円)
[事業概要<①目的 ②事業内容 ③成果>]			
① 落語を通して、考え方や想像力など、子どもの成長に必要な力を育てる。			
② 品川区内の子どもを対象に、落語に関連するものづくりワークショップと人形劇を実施し、身近な落語を提供する。			
③ 落語を通して、子どものコミュニケーション力を高める。また、親子や地域、異年齢における子どもの交流を図ることができる。			
合計			905,000 円 (1,771,230 円)

3. 不選定事業 3件 ※チャレンジ助成 1事業  
[面接審査] (1事業)

	事業名	申請団体
1	【チャレンジ助成 3年目】 シニアサロン事業	特定非営利活動団体
[事業概要<①目的 ②事業内容 ③成果>]		
① 高齢者の健康寿命を延ばすために、社会参加の機会を提供する。		
② 高齢者を対象として、毎月 1 回区内各施設でシニアサロンを開催する。講話は毎月テーマを設定し、自団体や協働団体、もしくは外部の専門家が担当する。		
③ 高齢者の行動範囲が広げ健康寿命延伸に寄与する。また地域事業への関心を高めることができる		
[不選定理由]		
・ 2 年度にわたり助成してきたが、今回の申請内容には当該団体と協働団体の会員だけに限定されない、より多くの区民に開かれた事業という点において、改善が見込めると判断できなかったため、不選定とする。		